

## 第5回地域政策懇談会（東三河地区） 意見交換の概要

平成25年7月1日（月）午後4時～5時30分

愛知県東三河総合庁舎 2階 大会議室

### （豊橋市 堀内一孝副市長）

- ・ 東三河広域連合を設立し、業務の共同化による行政の効率化とサービスの向上を図り、また、県からの権限・財源の移譲により地域力を強化する。こうした取組を段階的に行っていきたいと考えている。
- ・ 住民の生命財産を洪水被害から守り、市民生活や産業活動を支える水資源の安定確保のため、設楽ダム建設の推進をお願いしたい。
- ・ 蒲郡バイパスが開通すれば、さらに西三河地域とのネットワークが強化され、その中心に位置する三河港の役割も一層大きくなる。また、沿線では産業立地の需要が急速に高まることが見込まれる。
- ・ 東三河地域は、日本有数の農業地帯である。豊橋市では、ブランド力の強化、豊橋技術科学大学やサイエンス・クリエイト等と連携して進める植物工場の実証実験、アジア市場を視野に入れた販売促進等に力を入れ、この地域でしか実現できない産業クラスターの形成を目指していく。
- ・ 世界と闘える愛知の実現に向け、三河港港湾計画に基づく施設整備や豊橋市内における新たな産業用地の確保、海外プロモーションへの支援など、新しい産業創出のための戦略的な取組を積極的に進めていただきたい。
- ・ 県が発表した南海トラフ巨大地震想定では、名古屋市に次ぐ2番目の被害規模となっており、防災・減災対策を早急に明らかにし、実行していただきたい。
- ・ 三遠南信自動車道、浜松三ヶ日・豊橋道路の整備促進により、人、モノ、文化の交流など、「三遠南信地域連携ビジョン」の一層の推進を図っていく必要がある。
- ・ リニア中央新幹線が開通すれば、首都圏が一層近くなるとともに、人の流れが大きく変化する。その流れをこの地域にどう取り込んでいくか、県とともに考えていきたい。

### （豊川市 竹本幸夫副市長）

- ・ 国道23号蒲郡バイパス及び国道151号一宮バイパスについて、事業進捗に向け予算措置をよろしくをお願いしたい。
- ・ 臨港道路東三河臨海線について、特に県の企業庁が造成した御津1区と2区を結ぶ部分の早期事業化をお願いしたい。利便性が増すとともに、災害時の避難路にもなる。
- ・ 御津地区海岸堤防の補強・改修、設楽ダムの建設をお願いしたい。
- ・ 今年度で国の基金に基づく地域医療再生計画が終わるが、この地域は周産期医療を中心として医師不足であり、愛知県独自の制度として継続していただきたい。
- ・ 減税基金に基づく再投資への補助金が好評である。こうした産業活性化に向けたアイデアをまた出していただけたらと思う。

- ・ B-1 グランプリについては、多方面にわたってご支援をいただき感謝申し上げます。

**(蒲郡市 稲葉正吉市長)**

- ・ 三河港蒲郡地区については、マイナス 11 メートル岸壁の一部が 26 年度の供用開始に向けて整備が進められているところであるが、ぜひとも全バース完成に向けて進めていただきたい。
- ・ 名豊道路蒲郡バイパスの早期整備に向け、地元としても一生懸命取り組んでいくので、よろしくお願いしたい。
- ・ 国道 473 号について、平成 26 年度の新東名高速道路の開通に合わせて、額田インターチェンジ（仮称）から国道 1 号までは整備が進められているが、新東名、東名、国道 1 号、国道 23 号バイパスの横軸を縦軸でつなげ、港湾機能の活性化を図るため、これを三河港まで伸ばしていただきたい。
- ・ 来年の春開通予定の国道 23 号蒲郡バイパス蒲郡西インターチェンジ近くの企業用地については、ぜひ進出したいとの企業も何社もあり、地元との調整も進んでいる。しかしながら、山地を削っていかなければならず、コストがかかってしまう。市としても、単価を安く抑えたいと考えているので、早期実現に向け、県としてもお力添えをいただきたい。

**(新城市 穂積亮次市長)**

- ・ 新城はかつて山の物産と海の物産を交換する物流の結節点であった。太平洋側と三河山間地、そしてリニアを結び、三河港のさらなる発展にもつながる浜松三ヶ日・豊橋道路の早期整備をお願いしたい。
- ・ 過疎化、高齢化が進む奥三河では、医療、介護、在宅ケアをネットワークとして結びつけていく連携システムが不可欠である。奥三河 4 市町村が行政連携し、地域包括ケアシステムを形成していく上で、県の支援抜きでは考えられない。よろしくご検討いただきたい。
- ・ 木材の有効利用のため、バイオマス発電等の新しいモデル実験も含めて考えていただきたい。その際、大規模なバイオマス発電への利用を考えると、奥三河だけでは供給量が足りない。今後、森林の有効利用、未利用資源の活用を図る上で、南信州地域、浜松・天竜地域との連携が必要になるため、県のリーダーシップを期待したい。
- ・ 新城ラリーを契機に、新城総合公園を核として、奥三河の起伏に富んだ地形や河川等を活用したアウトドアスポーツの拠点形成、ブランドづくり、情報発信を進めていきたいと考えているので、県のビジョンにも打ち出していただけるとありがたい。
- ・ トヨタのテストコースの整備に向け事業が進められているが、これに関連し、新城市の作手地区等とにかく居住者を呼び寄せられるかが重要だと考えている。その点をぜひ、県でも位置付けていただきたい。

**(田原市 鈴木克幸市長)**

- ・ 防災・減災対策は時間のかかる対策であるが、しっかりと将来に向けて方向性を打ち出していただきたい。
- ・ 渥美病院では医師の引き上げがあり、大変な危機感を持っている。将来、東三河では医師確保が深刻になるのではないかと予測されるので、しっかりと状況を踏まえて検討していただきたい。
- ・ 東三河振興ビジョンの主要プロジェクト推進プランについて、今年度は「地域産業の革新展開」をテーマの一つとして検討が進められている。産業経済については、この検討を踏まえ、新しい地域づくりビジョンに反映していただきたい。
- ・ 東三河は、新東名、名豊道路など東西軸の整備は進んでいるが、南北軸が大変遅れている。リニアのインパクトを活かすためにも、三遠南信自動車道から浜松三ヶ日・豊橋道路、さらには、伊勢湾口につながる道路の整備について、ビジョンにぜひ盛り込んでいただきたい。
- ・ 将来の道州制を見据え、また広域連携の観点から、三河湾口道路の整備について、ビジョンにしっかりと盛り込んでいただければありがたい。

#### （設楽町 横山光明町長）

- ・ 新東名高速道路の開通、将来のリニア新幹線の開通によって、観光による人の流入や物流の活性化が期待される。そのような中で、若い人たちが今後、住み続けられる北設地域をつくり上げていくことが必要である。
- ・ 当地は保育園から高等学校まできちんと揃い、家庭の中で安心して暮らせる子育てに優れた地域である。また、三遠南信自動車道や新東名高速道路の開通に伴い、東栄インターチェンジや新城インターチェンジ周辺において、企業立地により雇用の場が生まれる可能性も期待している。
- ・ 都市との間で移動時間に抵抗がない環境を整備することが必要である。地域間較差のない東三河地域一体となった道路整備を進めていくことが最重要課題だ。
- ・ 医師確保に向けて、新城市と北設楽郡3町村で対策の検討を進めているが、ぜひとも県からの強力なお力添えを賜りたい。
- ・ 木質バイオマスの検討を進めているが、発電施設の誘致が可能な場所を用意できるかが課題となっている。また、発電に使用する木材も奥三河だけでは足りないので、遠州、南信州のエリアまで広げて、材の確保を考えていく必要がある。
- ・ あいち森と緑づくり税による事業の効果が、きれいな山林という目に見える形で出てきている。あいち森と緑づくり税の期間を延長していただけるようお願いしたい。

#### （東栄町 尾林克時町長）

- ・ 「あいちの離島80日間チャレンジ」や「あいちの山里で暮らそう80日間チャレンジ」のような過疎対策により、山間過疎地をさらに活性化、振興していただくようお願いしたい。
- ・ 県において、離島も含めた過疎地域の振興条例を制定していただき、財政支援や人的支援をお願いしたい。

- ・ 花祭のユネスコ無形文化遺産登録に向け、県の力強い支援をお願いしたい。

**(豊根村 伊藤実村長)**

- ・ 林業は下降の一途をたどっており、なかなか先が見えないという状況が続いている。豊根村では、豊明市や飛島村に協力をいただきながら、都市部の方にもっと木材を使って欲しいといった働きかけをしているが、県においても木材需要の増に向け、支援をお願いしたい。
- ・ 木質バイオマスによる発電事業のように、林業という地域資源を総合的に組み合わせ、相乗効果を発揮できればいいと思う。今後、環境の保全と地域資源を活かす二つの取組をうまく組み合わせていきたいと思っているので、県においてもご指導を賜りたい。
- ・ リニア開通を見据えた都市部へのアクセス強化はもちろん、内陸部の北設と海岸部の都市との災害支援・医療連携のため、国道 151 号、257 号等の南北軸の強化をお願いしたい。

**(豊橋商工会議所 吉川一弘会頭)**

- ・ 3 つの商工会議所、11 の商工会が一体となり、昨年 4 月に東三河広域経済連合会を設立した。現在、モノづくり振興、広域観光、人材育成の 3 つを連携の柱とした取組に力を入れている。本年度からは、主要プロジェクトとして、自動車産業のブランディング化、安心を担う健康医療サービスの地域づくり、東三河の産業経済を支える人材育成の 3 つをテーマとして、検討委員会を設け事業の具体化を進めている。
- ・ 「東三河振興ビジョン」については、地元の自治体、経済界、大学等、関係する機関、組織が連携をして、推進することが重要であると考えている。東三河の振興のため、地域一丸となって取り組んでいきたいと考えているので、県の絶大なるご支援をお願いしたい。

**(蒲郡商工会議所 小池高弘会頭)**

- ・ 健康長寿の東三河地域づくりを、行政面だけでなく、産業面からどう支えていくかという戦略が必要と考えている。ヘルスケア産業をいかに集積して、いかに育てていくかということを頑張ってやっていきたい。
- ・ 蒲郡にはラグーナという東三河の観光拠点があり、年間 300 万人が集まる。その 300 万人が、東三河の地域に散らばっていけるような広域観光ができればいい。
- ・ 東三河の地域に行って健康づくりをするというヘルスツーリズムを、観光というプラットフォームに乗せた戦略のひとつとして進めていきたいと考えている。
- ・ 各市町村の統計だけでなく、東三河地域の統計があると、この地域のポテンシャルが外から見え、東三河のプレゼンスが高まっていくのではないかと。
- ・ 東三河広域経済連合会では、「東三河産業アカデミー」を立ち上げ、企業人の教育を行っている。義務教育から大学、職場までを含めて、この地域の特徴を活かした人材づくりができればと考えている。

**（豊川商工会議所 日比嘉男副会頭）**

- ・ 現在、商工会議所、商工会は廃業や事業主の高齢化等により、会員数が減って弱体化していきっている。そのような中、地域住民とのつながりを強化して、ネットワークづくりというものを強化していかなければならないと考えている。
- ・ 豊川で11月に開催されるB-1グランプリは、この東三河、ひいては県の発展のためのビッグチャンスと捉えている。一層のご尽力を賜りたい。

**（設楽町商工会 伊藤誠会長）**

- ・ 新東名、三遠南信自動車道の開通による交流人口の増加を見込み、観光産業に力を入れている。経済産業省の補助事業を活用して、奥三河4商工会で協力して、観光資源の開発・研究を行ってきており、今年度、茶臼山の水が、具体的に商品になる予定である。
- ・ 北設楽郡の道路は、勾配がきつくてカーブが多く、運転しづらい。三遠南信自動車道や新東名新城インターチェンジからのスムーズな人の流れと若者の定住、産業振興のためにも、縦軸・横軸の道路整備をしっかりとやっていただきたい。

**（東栄町商工会 井筒睦治会長）**

- ・ 三遠南信自動車道が鳳来峡インターチェンジまで開通し、さらに近いうちに、東栄インターチェンジができるということで、都市との交流がしやすくなる。現在、行政と協力して、地域の魅力づくりを進めているところである。
- ・ 東栄温泉を訪れる人たちが、東栄町の中で、楽しく過ごせる時間をつくれば、経済にもよい影響が期待できることから、東栄町を山菜王国にしようという試みを実施している。地域のお年寄りの人たちの、生きがいや健康増進にもつながる。また、ビジネスに結びつけた展開もしていきたいと考えているので、県としても協力をしていただけるとありがたい。

**（津具商工会 伊藤武会長）**

- ・ 町役場がある田口へ行く道路は、山間部ということもあり、40年近く改良されていない。今年度から予算がついたことから、いち早く改良できるよう、よろしくお願いする。

**（豊根村商工会 鈴木一明会長）**

- ・ 村の経済は公共事業によって持っている。過疎化が進んでは国土・県土さえも守れなくなる。少しでも多くの公共事業が配分されるよう県の支援をいただきたい。

**（新城市商工会 本多克弘会長）**

- ・ 新城ラリーの全国大会だけでなく、今後、アウトドアスポーツのメッカとして、いろいろな大会の全国大会を新城にもってきたい。また、本宮山スカイラインが全線開通すれば、新城ラリーの世界大会をもつてくることもできる。ぜひ、よろしく

お願いしたい。

- ・ 新城は人材不足で有能な人材の確保が難しい。

**(音羽商工会 石川豊久会長)**

- ・ 音羽には、非常によい自然や観光資源がある。広域的な観光もあるが、地域の観光、近隣の市町村から来ていただいて、楽しんでいただける観光というものにも、支援をお願いする。

**(一宮商工会 伴正男会長)**

- ・ 市の補助事業である「やる気満々商店街等事業費補助金」を活用した、夜店事業などを通じて、少しでも地域に活力を与えていきたいと考えているので、よろしくお願いしたい。

**(小坂井商工会 丸山登三雄会長)**

- ・ 小坂井には、豊橋中日ハウジングセンターがあり、いろいろなイベントが開催され、住民の憩いの場になっている。センターは市街化調整区域にあり、仮設建築物の建築許可を毎年得ているが、県へ多数の書類の提出が必要であり、事務の簡素化をお願いしたい。
- ・ 農地沿線道路の市街化調整区域における農産物の販売に関する規制や、農地におけるソーラーパネルの設置に関する規制を緩和していただくと、農業者としては非常に期待ができる。

**(御津町商工会 小島教満会長)**

- ・ 国道 23 号バイパスの前芝から御津、為当地区が開通し、生活道路に関するアクセスが非常によくなった反面、一般商店の売上が落ちている傾向にもある。
- ・ 蒲郡バイパスについて、金野地区にインターチェンジができる予定と聞いている。その付近に、道の駅のような、食事ができる場所をつくっていただいて、商工会でやっているアンテナショップなどの商店を置いて、御津町の商店の空洞化を防げればと考えている。
- ・ 将来的には、東三河ふるさと公園を利用して、親子で遊びに来れるようなクロスカントリーのコースなどを整備していただきたい。

**(田原市商工会 河合利則会長)**

- ・ 三河港は輸出・輸入合わせて、2011 年ベースで世界でも 5 番目に位置する自動車貿易の一大基地である。東三河広域経済連合会では、東三河地域の自動車産業をブランディング化し、それが愛知の自動車産業のブランディング化につなげていけるような取組を進めていきたいと考えている。県には、また改めていろいろとご相談させていただければと思っているので、よろしく願います。
- ・ 背後地がいかに広いかがということが、港の力につながっている。高速道路との連結という点で、浜松三ヶ日・豊橋道路というのが、いかに三河港にとって大切かと

いうことをご理解いただければと思う。

- ・ 三河港の発展、愛知県の発展にとって、伊勢湾口道路が将来大きな意味合いを持つてくると思うので、整備の方をよろしくお願いします。

**(渥美商工会 石本健一会長)**

- ・ 渥美は海の側の僻地だというくらい道路がない。三遠伊勢連絡道路（伊勢湾口道路）の早期実現を切に望んでいる。国道 259 号も狭く、まともな歩道がない。危険なため、豊橋に出るのにどうしても時間が余分にかかってしまう。豊橋まで 30 分でいけるような道路をつくっていただきたい。

**(大村知事)**

- ・ 市街化調整区域の開発については、「都市計画法に基づく開発行為等の許可の基準に関する条例」による区域指定を、現在 10 区域認定している。これを進めるには、地元の市町村において、やりたいという結果が出るかどうかであるので、まずは地元で相談いただきたい。
- ・ 今後、7 月 18 日に、全体のビジョンの議論をする有識者会議を開催する。その場での整理を踏まえ、県民生活、県土基盤、産業経済の 3 分野及び地域を軸として、分科会をつくり議論を進めていきたいと考えている。
- ・ 東三河振興ビジョンができているが、これにさらに付け加える観点も含めて、今後ともご意見をいただければと思うので、よろしくお願いしたい。
- ・ いただいたご意見は、今後のビジョンづくりにしっかりと活かしていきたい。